

であい道

お問い合わせ先：
横浜市道路局
国土交通省横浜国道事務所
首都高速道路公団計画部

横浜市と国土交通省、及び首都高速道路公団では、(仮称)横浜環状北西線の計画を検討しています。計画づくりにあたっては、初期の段階から、

市民等のみなさまに情報を提供しつつ、広くご意見を聴き、それらを反映させていくPI(パブリック・インボルブメント)手法を導入しています。

PI [パブリック・インボルブメント : Public Involvement]

PIとは、計画づくりの初期の段階から、関係する市民等のみなさまに情報を提供しつつ、広くご意見を聴き、それらを計画づくりに反映することです。

(仮称)横浜環状北西線 「計画のたたき台」の考え方 について委員会で議論

第4回有識者委員会、1月30日開催

第3回有識者委員会において、これまでのPIの取り組み(下表を参照)が評価され、今後、具体的に次の段階に進んで検討し、引き続き情報提供・意見把握を行うことが必要との助言をいただきました。今回の有識者委員会では、ルート・構造等を示した「計画のたたき台」を提示するに先立ち、

その考え方や今後の情報提供について助言をいただきました。また、横浜環状北線及び湾岸地域の都市高速ネットワークの管理者である首都高速道路公団がPI活動に参加することになりました。



「計画のたたき台」と「概略計画」の違いをわかりやすく(下図を参照)

「計画のたたき台」の位置づけを明確にすべきである。その際には、「概略計画」との関係性を誤解のない形で提示することが重要であり、「計画のたたき台」から「概略計画」へのステップをもう少しわかりやすく説明すべきである。

「計画のたたき台」は計画の基本的な構成要素を示すもの

提示内容については、大まかなルートや構造

が理解できるなど想定される問題がわかる程度に具体性を持たせるべきである。

「計画のたたき台」では効果や懸念も提示

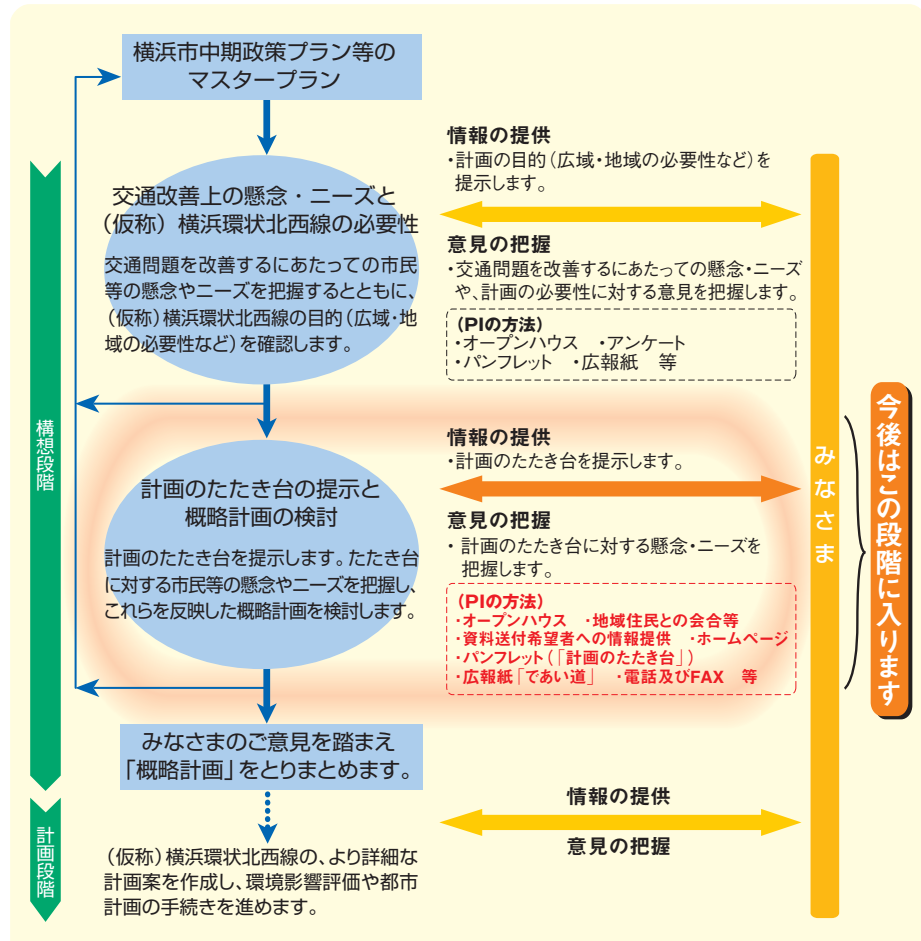
効果だけでなく、懸念に対応する情報を出す工夫をできる限りすべきである。特に、環境影響については、アセスメントを行わないと厳密にはわからないが、ある程度わかるものを提示すべきである。また、経済的な効果や、費用についても提示できるか検討すべきである。

次回の委員会においては、「計画のたたき台」を示し、具体的なPIの進め方や手法等についてご検討いただくこととなりました。

委員会メンバー

- 委員長 いそべ つとむ 磯部 力氏 (東京都立大学 法学部 教授)
- 委員 しよし すすみ 昌子 住江氏 (関東学院大学 工学部 教授)
- たかい かえこ 高井 佳江子氏 (弁護士)
- ふじの つくお 藤野 次雄氏 (横浜市立大学 商学部 教授)
- やいづお 屋井 鉄雄氏 (東京工業大学 総合理工学研究科 教授)

(仮称)横浜環状北西線計画検討の流れ



これまでのPIの取り組み

PIの方法	内容
①オープンハウス	横浜市と国土交通省の担当者が常駐し、市民等の方が気軽に立ち寄り、閲覧や問い合わせ及び意見を述べる事ができるコーナー (平成15年7月中旬～11月下旬にかけ13箇所のべ22日間開催)
②ホームページ	(仮称)横浜環状北西線に関する情報を提供し、併せてご意見もメールで受け付け URL: http://www.yokohama-nwline.jp/ (平成15年6月下旬より開設)
③パンフレットや広報紙(「であい道」)	区役所等の公共施設の窓口にて提供(「であい道」のみ市域約150万世帯に配布) (平成15年7月上旬より提供)
④ポスター掲示	区役所・地区センター等、計33箇所で「(仮称)横浜環状北西線」に関する情報を提供 (平成15年11月上旬より提供)
⑤記者発表	計画検討着手、アンケート調査、有識者委員会開催のお知らせ等、7回実施 (平成15年6月下旬より)
①オープンハウス	「情報提供①オープンハウス」と同様
②アンケート	横浜市民及び横浜市の事業所等を対象にアンケートを実施 (平成15年10月下旬～11月上旬実施)
③事業所等ヒアリング	横浜市の事業所等を対象に直接伺いヒアリングを実施 (平成15年11月上旬～12月上旬実施)
④意見募集はがき及びメール	パンフレットに組み込んだはがきや、ホームページにおいて意見を募集 (平成15年6月下旬より実施)
⑤フリーダイヤル及びFAX	専用フリーダイヤルを設置し、意見を募集 0120-875-805 (FAX兼用) (平成15年6月下旬より開設)

今後はこの段階に入ります

みなさまからの
ご意見を
公表しています

アンケート調査結果



上記冊子は、横浜市役所市民情報センター、各区役所総合案内窓口、国土交通省横浜国道事務所でご提供しています。

みなさまからいただいた
ご意見のとりまとめ
(要旨と意見例)



みなさまからいただいた
すべての自由意見



すべてのご意見は、横浜市役所市民情報センター、横浜市道路局事業調整課、国土交通省横浜国道事務所でご覧いただけます。

上記の資料はすべて「(仮称)横浜環状北西線」ホームページ <http://www.yokohama-nwline.jp/>でもご覧いただけます。

第5回有識者委員会 開催のお知らせ

- 開催日時 平成16年3月29日(月) 午前10時から正午まで
- 開催場所 神奈川中小企業センター (中区尾上町5-80) 13階 第2会議室
- 議題 「計画のたたき台」に関するPI手法など
- 公開・非公開の別 公開
- 傍聴者の定員 15人
- 傍聴の申込方法 傍聴を希望する人は、神奈川中小企業センター13階第3会議室にて、午前9時から午前9時30分まで受付。受付終了後抽選。傍聴者が定員に満たない場合は、委員会開催時刻まで先着順受付。
- 傍聴に関する問合せ先 横浜市道路局 横浜環状道路調整部事業調整課 TEL.045-671-2735

ご意見をお聞かせください

みなさまからの(仮称)横浜環状北西線に関するご意見を以下の方法でお待ちしています。

はがき

パンフレット「PI-ご意見をうかがいながら」についてのはがきをご利用ください。このパンフレットは、横浜市役所市民情報センター、各区役所総合案内窓口、国土交通省横浜国道事務所、神奈川県庁県政情報センターでご提供しています。

電話・FAX

- 横浜市 道路局 横浜環状道路調整部 事業調整課
電話:045-671-2735
FAX:045-662-3945
- 国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 調査第一課
専用フリーダイヤル:0120-875-805 (FAX兼用)
- 首都高速道路公団 計画部 第二計画課
電話: 03-3539-9389
FAX: 03-3502-2412

ホームページ

<http://www.yokohama-nwline.jp/>にアクセスして、ご意見をご送信ください。

エコ。リサイクル



模型に触れると映像が映し出され、リサイクルについて楽しく学べる「リサイクルタッチランド」(鶴見リサイクルプラザ)

私たちが普段、何気なく出しているゴミ。一人ひとりが出すゴミは少なくとも、大勢の家庭から集まればたいへんな量になります。このままゴミが増え続けていくと、環境にも大きな負担をかけることに。そこで横浜市では、ゴミの30%減量を目指した「G30プラン」を推進中。市内に、不用になった家具等を展示・販売しているリサイクルプラザや、エコライフを実践・体験できるコミュニティセンターを設け、ゴミの減量に取り組んでいます。みなさんも、使える資源を再利用するリサイクルライフをはじめませんか。(各データの図は交通です。各スポットへアクセスしやすい交通を表していますので、お出かけの参考に。なお、各リサイクルプラザで開催されるイベントや講座、石けん作り、紙すき等は事前に予約が必要です)

(仮称)横浜環状北西線周辺の地域に関する情報



A 廃油を使って石けん作りを体験
利用は2~10人程度のグループで

青葉リサイクルプラザ

青葉区荏田西1-5-16
TEL:045-911-6255
[開館]午前9時~午後4時30分 [入館料]無料
[休館日]第1水曜
☒ 東急田園都市線市が尾駅あるいは江田駅から徒歩15分

家具等のリサイクル品を展示、抽選による販売を行っています。家庭から出る廃油(20%)を持参して石けん作り(1500円)も体験できます。不用品等の情報交換ができる掲示板もあります。

B リサイクルの理解を深める
講座・イベントを定期的に開催

エコライフかながわ

神奈川区平川町3-6
TEL:045-413-3196
(横浜市神奈川リサイクルコミュニティセンター)
[開館]午前9時~午後5時(金曜、多目的室の利用は午後9時まで)
[入館料]無料 [休館日]第1水曜
☒ JR東神奈川駅から徒歩7分、東急東横線東白楽駅から徒歩5分、京浜急行仲木戸駅から徒歩9分

ゴミの減量やリサイクルに関するイベントを定期的に開催。不用品等の交換、リサイクルの情報を集めた「情報・交流コーナー」や、新聞・雑誌、古布、牛乳パック等の「資源回収コーナー」があるほか、洋服のリフォーム等ができる「りさいくる工房」もあります。また毎月第2日曜の午前10時~午後1時(4月以降は正午まで)、反町公園においてセンターリサイクル(資源回収)を行っています。
※講座・イベントは内容により参加方法が異なるので事前に問い合わせを。

C 不用になった布でパッチワークや機織りなど、
各種リサイクル教室を開催

鶴見リサイクルプラザ

鶴見区末広町1-15-1 TEL:045-521-0480
[開館]午前9時~午後4時30分 [入館料]無料
[休館日]第1水曜
☒ JR鶴見駅あるいは京浜急行京急鶴見駅から川崎鶴見臨港バス鶴08系統ふれーゆ下車すぐ

家具等のリサイクル品を展示、抽選による販売を行っています。廃油(20%)を使った石けん作り(1500円)、紙すき(無料)、家庭にあるものを利用した各種リサイクル教室、ゴミやリサイクルに関する講演会等も開催。不用品等の情報交換ができる掲示板、ゴミ処理や焼却工場のしくみを紹介したコーナーもあります。

D 資源回収センターを併設
牛乳パック等を利用した紙すきも

港南リサイクルプラザ

港南区日野南3-1-2 TEL:045-834-1580
[開館]午前9時~午後4時30分 [入館料]無料 [休館日]第1水曜
☒ JR港南台駅から徒歩15分、市営地下鉄・京浜急行上大岡駅から市営バス2・84系統あるいは神奈中バス上06系統(または船02・05・20系統)港南車庫入口下車すぐ

家具等のリサイクル品を展示、抽選による販売を実施。家庭から出る廃油(20%)を持参して石けん作り(1500円)や、牛乳パック等を使った紙すき(無料)も体験できます。不用品等の情報交換ができる掲示板もあります。

リサイクルプラザで
展示品を
購入するには…

展示品の購入はすべて公開抽選になります。抽選は毎月第1日曜午後2時から。抽選日の正午までにリサイクルプラザ備え付けの用紙で申込み(1人3点まで)。なお、抽選日の翌日から翌週の木曜までは展示品の入れ替えのため申込みはできません。

(仮称)横浜環状北西線の広報紙「であい道」は、PIの一環としてみなさまに配布しています。

▼ 問い合わせおよびご意見は下記までお寄せください。▼

横浜市 道路局
横浜環状道路調整部 事業調整課
〒231-0017 横浜市中区港町1-1
TEL:045-671-2735 FAX:045-662-3945

国土交通省 関東地方整備局
横浜国道事務所 調査第一課
〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町13-2
専用フリーダイヤル:0120-875-805 (FAX兼用)

首都高速道路公団
計画部 第二計画課
〒100-8930 東京都千代田区霞が関1-4-1
TEL: 03-3539-9389 FAX: 03-3502-2412

「(仮称)横浜環状北西線」ホームページ: <http://www.yokohama-nwline.jp/>